

# 海田の歴史と文化を訪ねて ⑧

## 千葉家旧蔵資料は語る

生涯学習課 ☎ 823-9217 FAX 823-9256

今月は新春にふさわしい花鳥画を二点、紹介します。

まず一点目は、広島藩の要職も務めた、澤三石（1772～1853）による『白梅図』（絹本墨画／軸装）です。

咲きこぼれる白梅。今まさに満開の時を迎え、躍動感あふれる幹や枝と、精緻に描かれた花々が、見るものを圧倒する生命力に満ちています。この絵を描いた時、三石は七十四歳。既に藩の職を辞し、書画に親しむ日々を送っています。

ました。その画技も、円熟のときを迎えていたことがうかがえます。

二点目は、大阪を拠点とした南画家、森三石（1843～1921）による『花鳥図』（部分）（絹本着色／軸装）です。

よどみない筆運びの白梅と、枝に止まった小鳥の生き生きとした姿。対照的に細やかに描かれた薔薇とが絶妙に調和した秀作となっています。

三石は、銅版画家としても活躍したほか、明治を代表する洋画家高橋由一から西洋画法も学んでおり、画家としての探究心は生涯衰えることがありませんでした。



▲『白梅図』（絹本墨画／軸装）



▶『花鳥図』（部分）（絹本着色／軸装）

広報かいた1月号(№547)

平成25年1月1日発行

発行／海田町 編集／企画部企画課

〒736-8601 広島県安芸郡海田町上市14番18号  
TEL(082)8233-9212 FAX(082)8233-9203

ホームページ <http://www.town.kaita.lg.jp/>

携帯版 <http://www.town.kaita.lg.jp/mobile/>

E-mail [kikaku@town.kaita.lg.jp](mailto:kikaku@town.kaita.lg.jp)



印刷／レープレス

株式会社